

三和かわら版

■vol.11■

平成27年8月
発行：
三和グラント(株)
03-3839-8501

テレビ朝日「スーパーJチャンネル」、
機関誌『海外子女教育』の特集に、
弊社舗装材が取り上げられました。



↑テレビ朝日、取材時の様子



機関紙
『海外子女教育』
8月号→

二〇二〇年の東京五輪・パラリンピックに向け、政府は暑い夏の開催を乗り切る為に、道路の温度上昇防止として、「保水性舗装」の技術の活用を検討している。

これに伴い、弊社の透水性・保水性舗装材に、取材のお話しを多数いただいております。

まずは八月七日、テレビ朝日の報道番組「スーパーJチャンネル」。八日間雨が降らず、都心で今年最高の37.7度を記録した当日。「高温を防ぐすごい道路」ということで紹介されました。

番組では、実際にじょうろの水を掛けて、舗装材の「保水力」について検証

人の感じる暑さについて



さらに、打ち水した際のアスファルトとの温度の違いを比較した、サーモカメラの映像も放送されました。

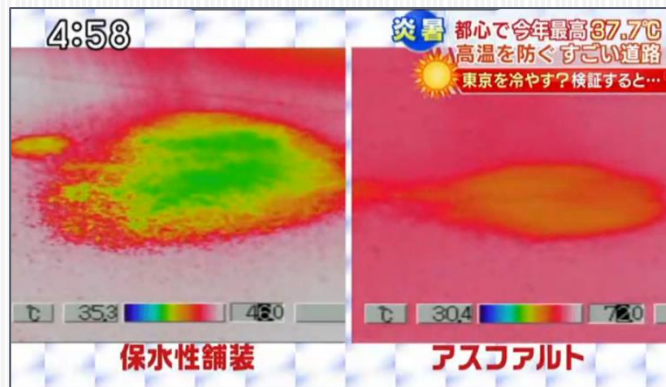
暑さを感じるのは、気温だけではなく、周りの建物や路面の熱の影響がとても大きい為、路面の温度を下げることは、体感温度を下げるのに有効な手段の一つなんです。

次に、海外子女教育振興財団発行の、機関誌『海外子女教育』（8月号）です。「エコ」に取り組む企業の驚きの着想と工夫」という特集記事に、鉄をつくる時の副産物である高炉水砕スラグを原材料にした、エコ製品として紹介されました。【どしゃぶりに、カンカン照りにも強い道路」というサブタイトル。「透水性」と「保水性」という一見両立しない機能を併せ持つ「夢の配合」を見つけたまでの、試行錯誤のエピソードも交え、わかりやすい記事にさせていただきました。

他の舗装材との表面温度の違い

天候:晴れ 気温:31℃

舗装材	アスファルト	平板ブロック	カラーサンド
表面状態			
乾燥状態	55℃	54℃	42℃
湿潤状態 (散水後30分)	52℃	—	37℃



↑テレビ朝日放送より
「打ち水をした時の温度比較」